



Fukuoka Johkasou Association

エコアクション21
登録番号 0001803

KAIHOU

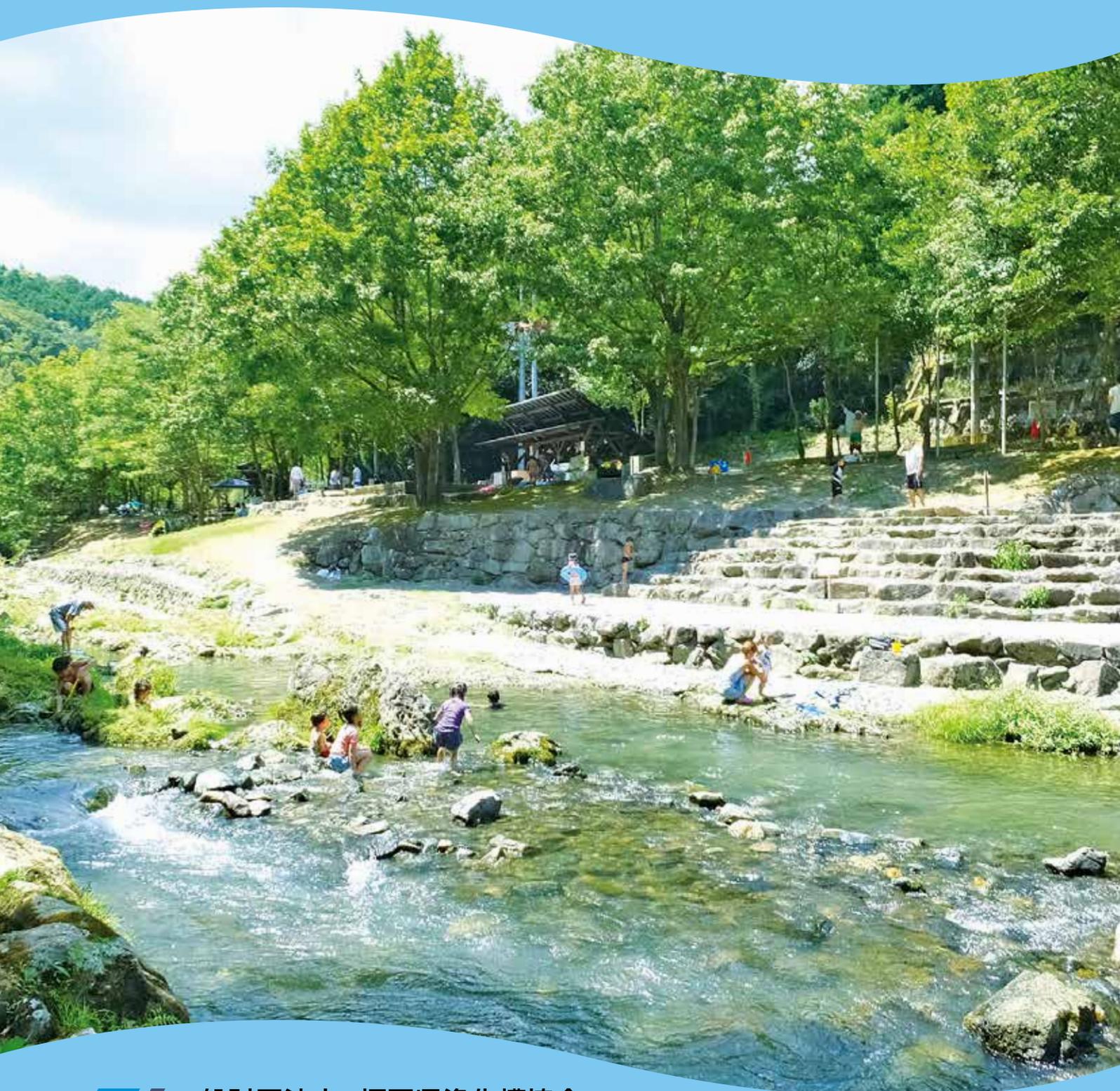
美しい水環境の創造へ

かいほう

2018
SUMMER

148

夏号



一般財団法人 福岡県浄化槽協会
Fukuoka Johkasou Association

従業員の方々にも広く、ご回覧下さい。

INDEX



(宮若市役所産業観光課 提供)



事業報告

法人運営

- 第22回理事会の開催 1
- 第15回評議員会の開催 1
- 一般財団法人福岡県浄化槽協会 役員・評議員名簿 2
- 理事退任あいさつ 2
- 平成29年度事業報告 3
- 一般財団法人福岡県浄化槽協会理事長表彰 10
- 一般社団法人全国浄化槽団体連合会会長表彰 10

普及啓発

- 浄化槽普及啓発活動の紹介 11
- 浄化槽普及啓発資料の紹介 12
- 出前講座の実施 13
- 環境フェアへの出展(久留米) 15

検査事業

- クロスチェック委員会の報告 15
- 法定検査結果について 17
- 平成29年度7条検査実施時の「無管理」浄化槽について 18

その他

- 協会行事録(平成30年4月~6月) 19

情報

官庁情報

- 省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業について 20
- 環境情報記事(2018.4.1) 20
- 福岡県内市町村の浄化槽に関する補助事業等実施一覧 21
- 福岡県浄化槽整備事業補助金について 22

試験・講習

- 平成30年度浄化槽関係試験・講習日程表 26

その他

- フジクリーン工業㈱福岡支店が田川市に浄化槽ミニチュアモデルを寄贈 27
- 「柳川掘割物語」の追悼上映会が開催されました 28
- 指定採水員指定講習会(更新)兼浄化槽技術研修会の開催のお知らせ 28
- 浄化槽Q&A 29
- 法定検査の指摘事例 30
- 水質検査課だより(NO.5) 31
- 市町村職員による法定検査の視察 32
- お盆休みに伴う検体受付について(お知らせ) 32
- ふるさと百景 33
- 編集後記 33
- 第7回浄化槽ポスターコンクールのお知らせ 34

表紙の写真について

表紙の写真は、宮若市の千石峡です。

八木山川の上流2kmの間、笠置山ろくの谷間の岩床を削って溪谷美を形成している千石峡。

川岸には、千石公園をはじめ、笠木城跡や穂掛神社、キャンプ場、吊橋などの史蹟や施設があります。

また、春には数百本の桜とつつじが咲き誇り、夏には清流と鮮やかな緑で涼感あふれ、水遊びやキャンプ、森林浴が楽しめます。

第22回理事会の開催

5月22日(火)に当協会の第22回理事会を開催しました。

三浦理事長を議長として議事に入り、平成29年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告書などの議案は、全て満場一致で承認・可決されました。

第1号議案 平成29年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告書の承認について

第2号議案 役員候補者等について

第3号議案 一般財団法人福岡県浄化槽協会第15回評議員会の招集について



三浦理事長の挨拶



理事会のようす

事業報告/法人運営

第15回評議員会の開催

6月19日(火)に当協会の第15回評議員会を開催しました。

安徳評議員を議長として議事に入り、定足数を満たし、本評議員会は成立しました。

平成29年度計算書類等の承認と役員改選の議案は、全て満場一致で可決されました。

第1号議案 平成28年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告書の承認について

第2号議案 役員の任期満了に伴う改選について



評議員会のようす

● 評議員

平成30年7月1日現在

役 職	氏 名	所 属
評 議 員	安 徳 博	(有)久留米清掃センター
	磯 田 仁	(株)西原ネオ
	大 山 忠 成	(株)日豊清掃センター
	小 野 英 樹	福岡市生活衛生課
	川 口 敬 介	(株)ケイ・エスクラフト工業
	竹 又 敏 弘	アムズ(株)福岡支店
	中 嶋 浩 二	(有)添田環境サービス
	永 野 孝 明	(有)環境整備センター
	花 嶋 正 孝	福岡大学名誉教授
	山 口 勝 弘	(有)山口興産
	山 口 哲 司	元福岡県環境生活部長
	山 口 洋 志	福岡県廃棄物対策課
	山 崎 健 一	(有)稲築環境衛生

(五十音順)

● 役 員

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	三 浦 正 吏	協業組合朝倉浄水
副 理 事 長	川 嶋 奉 幸	(有)筑紫環境開発
	永 田 勝 芳	フジクリン工業(株)福岡支店
	永 田 十 代 介	(有)リバブル
	安 田 武 博	(有)アメニティ宇美
専 務 理 事	山 本 直 隆	一般財団法人福岡県浄化槽協会
常 務 理 事	梅 崎 誠 治	一般財団法人福岡県浄化槽協会
理 事	井 上 輝 男	福岡県環境整備事業協同組合連合会
	梶 原 博	大栄産業(株)福岡営業所
	後 藤 良 夫	英福工業(株)
	竹 下 雅 彦	久留米市給排水設備課
	西 口 周 治	(有)西口住宅設備
	平 野 恒 一	山見商会
	渡 辺 章	元福岡県知的所有権センター
	古 賀 昭 洋	古賀税務会計事務所
監 事	的 野 寛	すみきーる(株)
	森 研 一 郎	(株)森商事

(五十音順)

理事退任あいさつ

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 さて、私議、このたび、福岡県浄化槽協会専務理事を任期満了に伴い、退任することになりました。
 在任中は、ひとかたならぬご指導・ご厚誼を賜り厚くお礼を申し上げます。
 振り返りますと、昭和41年に福岡県に入庁以来今日まで、52年の長きにわたり広義の公衆衛生部門に携
 わることができ、感無量のものがあります。
 今日まで、このように行政、そして協会の事業推進に関わることができましたことも、ひとえに、多くの先輩、
 同僚、そして後輩の皆さんの方々のご指導とご鞭撻のお陰であり、改めて、深く感謝するとともにお礼を申し上
 げる次第です。
 特に、協会在任中は、理事長そして評議員・理事の方々を始め、会員各位、さらには職員の皆さんと共に、
 楽しく仕事ができ、歳を忘れさせる日々を送ることができました。
 今後も、協会の事業発展には、会員各位のご理解とご協力が不可欠でございます。
 どうぞ、これからもよろしくお願ひ申し上げる次第です。
 末筆ながら、皆様方一段のご健勝をお祈りし、まずは、書中をもちましてご挨拶とさせていただきます。
 平成30年6月

古賀 政利

1 浄化槽適正管理推進事業

浄化槽の適正管理を推進するためには、浄化槽管理者の氏名等の正確な情報の把握が不可欠である。

そこで、平成17年度から、県保健福祉環境事務所から提供を受けた浄化槽管理者情報を電子データ化し、市町村の下水道接続情報、福岡県環境整備事業協同組合連合会会員企業の情報及び福岡県との連携によるダイレクトメール調査等により得られた情報を電子データに反映させ、浄化槽管理者情報の実態把握に取り組んでいる。

(1) 11条検査受検勧奨

前述の調査で得られた情報をもとに、平成24年度末から、11条検査を受検していないことが判明した浄化槽管理者に対し、県保健福祉環境事務所と連携して受検勧奨文書を発送している。

この事業により、浄化槽設置情報の正確な把握はもとより、浄化槽の適正管理(保守点検、清掃、法定検査)の推進及び無管理浄化槽に対する指導の徹底等が図られている。

受検勧奨の1巡目及び2巡目の実施状況は、表のとおりである。

【受検勧奨状況:1巡目】(平成30年3月31日現在)

保健所	地区	勧奨数	廃止数	受検数	受検成果	実施期間
京 築	京築	3,434	440	1,047	35.0%	25/3~5
筑 紫	筑前	986	198	217	27.5%	25/9
宗像・遠賀	中遠	98	20	10	12.8%	26/2
	宗像	557	173	29	7.6%	26/3
	粕屋	1,460	210	206	16.5%	26/3~10
北筑後	甘木	411	60	48	13.7%	27/1
	両筑	176	11	13	7.9%	27/2
南筑後	八女	2,290	87	313	14.2%	28/3~4
	有明	6,774	71	819	12.2%	28/11~29/5
嘉穂・鞍手	直鞍	419	10	32	7.8%	28/10
	田川	3,624	50	247	6.9%	29/6~7
	嘉飯山	-	-	-	-	-
合 計		20,229	1,330	2,981	15.8%	-

【受検勧奨状況:2巡目】(平成30年3月31日現在)

保健所	地区	勧奨数	廃止数	受検数	受検成果	実施期間
京 築	京築	2,733	調査中	223	8.2%	29/10~30/1

(2) 浄化槽適正管理推進キャンペーン

筑後地区の商業施設において、行政、協会及び関係事業者(保守点検業者、清掃業者)が連携し、浄化槽の保守点検及び清掃並びに法定検査の必要性を啓発する街頭キャンペーンを実施した。

平成29年度の開催状況は、表のとおりである。

【浄化槽適正管理推進キャンペーンの開催状況】

開催日	開催場所	啓 発 者				啓発物 配付数	アンケート 回収数
		県	自治体	保守・清掃	協会		
H29.8.8	ゆめタウン八女	2名	2名	9名	6名	300	182
H29.8.22	ゆめマート柳川	1名	1名		7名	313	171
H29.8.24	道の駅みやま	3名	2名	2名	5名	300	187
H29.8.29	ゆめタウン大川	1名	2名	3名	8名	330	193
合 計		7名	7名	14名	26名	1,243	733

(3) 浄化槽法定検査受検勸奨連絡会議

平成29年度に福岡県廃棄物対策課と表記会議を設置し、適正管理の一層の推進を図るとともに、受検勸奨後も受検しない浄化槽管理者に対する今後の対応等について協議を実施した。

平成29年度の開催状況は表のとおりであり、当該会議については、今後も定期的に開催することとしている。

【浄化槽法定検査受検勸奨連絡会議の開催状況】

開催日	場所	会議名	出席者	
			県	協会
H29.6.30	県環境部会議室	平成29年度第1回浄化槽法定検査受検勸奨連絡会議	2名	4名
H30.2.8	県環境部会議室	平成29年度第2回浄化槽法定検査受検勸奨連絡会議	2名	3名

2 浄化槽普及啓発事業

(1) 浄化槽シンポジウム

県民の環境意識の向上や少子高齢化等の社会状況の変化のなか、福岡県並びに福岡県浄化槽推進協議会と連携し、平成24年度から、地域の実情にあった生活排水処理計画が構築されるよう、地方公共団体の政策決定に携わる関係者を対象に、経済的・効率的な生活排水処理施設として強靱かつ住みやすい町づくりに資する浄化槽の特徴など、浄化槽の有用性を啓発するシンポジウムを開催している。

平成29年度は、以下の内容で開催した。

○「平成29年度浄化槽シンポジウム福岡」

- 日時** 平成30年2月2日(金)13:30～
- 会場** ANAクラウンプラザホテル福岡
- 共催** 福岡県、福岡県浄化槽推進協議会、一般財団法人福岡県浄化槽協会
- 後援** 全国浄化槽団体連合会九州地区協議会、福岡県環境整備事業協同組合連合会
- 講演** 「福岡県汚水処理構想の概要について～ふくおか水環境ビジョン～」
 福岡県 建築都市部 下水道課 公共下水道係 森 大輔氏
 「生活排水処理改革～持続可能なインフラ整備のために～」
 東京福祉大学 副学長 喜多村 悦史氏
- 参加者** 173名

(2) 環境フェア

県民の水環境保全に対する関心を高めるため、市町村が主催する環境フェアに参加し、浄化槽ブースを開設した。

浄化槽ブースでは、浄化槽のカットモデルや啓発パネルの展示、パソコンによる浄化槽クイズを実施するほか、啓発グッズとしてオリジナルトイレトペーパーを配布し、水環境の重要性と浄化槽の有用性の普及啓発を図った。

平成29年度の実績は、表のとおりである。

環境フェアの出展状況

開催日	名称	開催地	ブース来場者数
H29.6.4	第27回くろめ環境フェア	久留米市	252名
H29.11.5	八女エコキャンペーン2017	八女市	81名
H29.11.12	嘉麻市ふれあいまつり2017	嘉麻市	91名
H30.2.10	エコスタ飯塚(環境教育推進大会)	飯塚市	104名
H30.2.18	大川環境王2017	大川市	102名
	合計	5会場	630名

(3) 出前講座

浄化槽をはじめとする廃棄物処理技術や水環境保全等の環境問題に対する知識を付与するためには、21世紀を担う子供達への教育がきわめて重要であることから、市町村教育委員会の協力のもと、学校教育の場を活用し、浄化槽を含めた水環境保全に関する環境学習を実施した。

また、自治体の行政区が主催する夏休み親子教室において、浄化槽に関する環境学習を実施し、県保健福祉環境事務所が主催する水辺教室においても、浄化槽を含めた汚水処理の状況に関する講義を行った。

平成29年度の実績は、表のとおりである。

実施区分	受講者数	実施回数			
		福岡	筑後	筑豊	合計
出前講座(小学校)	1,498名	6	8	18	32
出前講座(一般)	28名	0	1	0	1
水辺教室(保健所主催)	618名	7	0	0	7
合計	2,144名	13	9	18	40

(4) 浄化槽ポスターコンクール

浄化槽の有効性を広く県民に周知するとともに、浄化槽を身近なものとして理解し、関心を高めてもらうことを目的として、県内の小学校を対象にポスター原画を募集している。

応募作品の中から、福岡県知事賞をはじめ、後援団体並びに主催団体の賞、優秀賞、入選作品を選考し、入選作品は10月1日の「浄化槽の日」に併せて、県庁ロビーなど、県内3ヶ所に展示した。

また、入賞作品は啓発ポスターとして印刷のうえ、関係各所に配布した。

- 作品応募数 209点
- 選考結果 福岡県知事賞1点、福岡県浄化槽推進協議会会長賞1点
福岡県環境整備事業協同組合連合会会長賞1点
一般財団法人福岡県浄化槽協会理事長賞1点
優秀賞5点、入選16点
- 啓発ポスター配布実績 400枚

3 浄化槽関係資格試験・講習受託事業

公益財団法人日本環境整備教育センターが実施する各種資格試験や講習の事務を一部受託し、浄化槽設備士や浄化槽管理士等の養成及び技術に向上に協力した。

平成29年度に当協会が受付事務等を行った当該事業の実績は、表のとおりである。

国家試験

区分	試験日	受験者数
浄化槽設備士	H29.7.9	278名
浄化槽管理士	H29.10.22	226名
合計		504名

講習

区分	実施期間	日数	受験者数
浄化槽設備士	平成29年10月23日～27日	5日間	95名
浄化槽管理士	平成29年6月26日～7月8日	13日間	70名
	平成29年11月27日～12月9日	13日間	88名
	平成30年2月26日～3月10日	13日間	85名
浄化槽技術管理者	平成30年1月24日～26日	3日間	130名
合計			468名

4 検査事業

(1) 法定検査

浄化槽法に基づく検査は、浄化槽の所期の機能を判断する重要な検査であり、関係業界、会員の協力のもと法定検査の推進に努めた。

法定検査の実施状況は、表のとおりである。

【法定検査の実施基数】

区 分	7条検査	11条検査	合計
平成25年度	4,142	102,454	106,596
平成26年度	4,418	104,691	109,109
平成27年度	3,725	106,453	110,178
平成28年度	3,635	108,235	111,870
平成29年度	3,293	112,107	115,400

① 第7条検査

浄化槽法第7条に規定する設置後の水質検査(以下、「7条検査」という。)は、検査依頼書が福岡県保健福祉環境事務所を経由する制度が維持され、100%の受検率を達成している。全国の受検率は94.5%(平成28年度)である。

また、7条検査を適期内に実施するために進捗管理に努めている。

② 第11条検査

浄化槽法第11条に規定する定期検査(以下、「11条検査」という。)は、「福岡方式」により、毎年、検査基数が増加し受検率が全国平均を大きく上回っている。なお、福岡県の受検率は67.6%であり、国の受検率は40.3%(平成28年度)である。

法定検査の外観検査において、浄化槽の機能異常が水質に影響しない検査項目により「不適正」と判定された浄化槽については、翌年以降、浄化槽検査員が改善の有無を確認する「フォロー検査」を実施し、行政に報告を行い「不適正」浄化槽の改善に寄与した。

また、11条検査においてBOD値が恒常的に超過している浄化槽について、浄化槽管理者へ使用状況等の具体的な聞き取り調査や法定検査よりも詳細な外観及び水質検査を実施する「BOD超過原因調査」を実施し、水質が悪化している浄化槽の改善に努めた。

③ クロスチェック委員会の運営

クロスチェック委員会は、「福岡方式」の適正な運営を図るために行政及び学識経験者によって構成された審査機関であり、この委員会の指導により適宜必要な措置を行っている。

委員会の開催状況は、次のとおりである。

5月29日(月)	第1回会議
9月22日(金)	第2回会議
2月16日(金)	第3回会議

委員会の委員は、次のとおりである。

石井 久利	浄化槽学識者
今村 文香	福岡県環境部廃棄物対策課施設第一係技術主査
佐澤 栄逸	久留米市企業局上下水道部給排水設備課技術主査
堤 裕嗣	福岡県環境部廃棄物対策課施設第一係係長
永田 十代介	浄化槽学識者
濱田 幸子	福岡市早良区地域整備部生活環境課環境衛生係長
渡辺 章	元福岡県保健環境研究所副所長(委員長)

(平成30年3月末 五十音順、敬称略)

④ 指定採水員指定講習会

「福岡方式」の根幹の一つである指定採水員制度を適正に維持・推進するため、指定採水員指定講習会を次のとおり開催し、法定検査の推進に必要な指定採水員を確保するとともに、更なる浄化槽の適正管理及び法定検査の信頼性の向上を図るため講習内容の充実に努めた。

指定採水員指定講習会の開催状況は、次のとおりである。

なお、平成30年3月末の指定採水員数は828名となっている。

新規講習会

区分	日時	開催場所	受講者数
第1回	平成29年9月1日(金)	クリエイト篠栗	30名
第2回	平成30年2月9日(金)	クリエイト篠栗	28名
合計			58名

更新講習会兼浄化槽技術研修会

日時	開催場所	開催地	受講者数
11月 1日(水)	サンレイクかすや	粕屋町	40名
11月17日(金)	おりなす八女	八女市	51名
11月22日(水)	田川青少年文化ホール	田川市	59名
合計			150名(内行政5名)

平成28年度から指定採水員指定講習会(更新)と浄化槽技術研修会を統合し開催

講習内容

- ① 浄化槽行政の現状について
- ② 水質改善事例の紹介
- ③ XE型の維持管理のポイント

講師

福岡県廃棄物対策課
 (一財)福岡県浄化槽協会
 (株)ダイキアクシス

(2) 県細則検査

福岡県浄化槽法施行細則第9条に基づく検査は、浄化槽の機能を把握するために51人槽以上の浄化槽に受検が規定されている。

平成29年度の検査件数は、表のとおりである。

県細則検査実施件数

年度	検査件数	主な特殊項目検査件数(オプション)			
		COD	T-N	T-P	大腸菌群数
平成25年度	16,246	2,070	1,456	1,497	1,510
平成26年度	15,911	2,009	1,427	1,403	1,521
平成27年度	15,836	2,074	1,434	1,406	1,524
平成28年度	15,777	2,042	1,439	1,414	1,504
平成29年度	15,821	2,062	1,439	1,407	1,464

(3) 調査研究

11条検査において、恒常的にBODが高い浄化槽について、その原因を調査し水質が改善された事例を成果として、指定採水員講習会や平成29年度九州地区浄化槽検査員研修会で発表した。

- 「高負荷流入が原因で水質が悪化した浄化槽の改善事例」
 筑後検査センター法定検査課技術主査 濱崎 博美
- 「送風機の風量低下が原因で水質が悪化した浄化槽の改善事例」
 筑豊検査センター法定検査課技術主査 川上 史人

(4) その他

① 委託事業の受託

(公財)日本環境整備教育センターからの受託による、登録浄化槽に係る調査を次のとおり実施した。

- 浄化槽機能実地調査 16基

② 特殊技術講習会(一般社団法人日本経営教育センター主催)

浄化槽の施工・維持管理の作業安全性の確保に資するため、浄化槽設備士及び浄化槽管理士を対象とした講習会を開催し、専門技術者へ教育の場を提供した。

講習科目	受講者数
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	5名
酸欠・硫化水素危険作業主任者	11名
職長・安全衛生責任者	12名
有機溶剤作業主任者技能講習	3名
小型移動式クレーン運転技能講習	4名
特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者	4名
合 計	39名

5 法人運営

(1) 関係機関との連携協力

行政、福岡県浄化槽推進協議会、(一社)全国浄化槽団体連合会・同九州地区協議会、九州地区浄化槽指定検査機関協議会、及び福岡県環境整備事業協同組合連合会等と連携し行政や業界の活動に協力した。

(2) 部会活動

工事業部会を開催し、福岡県浄化槽推進協議会が定める「浄化槽設置工事基準書」が平成29年6月に一部改正され、基礎工事における既製底板コンクリート(PC板)が認められたことから、使用する場合の施工に関する課題について検討した。

併せて、環境省の省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業の他、当協会が実施している浄化槽適正管理推進事業などの浄化槽普及啓発に関する事業について情報提供した。

(3) 表彰の実施

協会が表彰又は推薦した顕彰等については、表のとおりである。

受賞状況

区 分	受賞者数
全浄連会長表彰 「顕彰状、表彰状」	3名
福岡県知事表彰	1名
協会理事長表彰 「環境衛生功労者表彰」	6名
同 上 「同感謝状」	3名
同 上 「優良職員表彰」	2名

(4) 新コンピューターシステムとネットワーク化

平成29年4月から協会業務を統括管理するコンピューターシステムの運用を開始した。検査におけるタブレット端末及び電子地図の活用、請求業務等における会計ソフトとの自動連動などの採用により業務の効率化が進んだ。

これと平行して、行政とのネットワーク化について福岡県と協議を進めており、双方の条件が整えば必要な環境整備を行いネットワークに関する契約等を行うこととしている。ネットワークは、クラウド上の浄化槽台帳管理システムにインターネットでアクセスし、閲覧、検索等が出来るものとする。

(5) 個人情報管理

個人情報保護法において、個人情報取扱事業者は、個人データについての安全管理措置、従業員の監督、委託先の監督を講ずる義務があることから、当協会が取得している個人情報の適正な取扱いやマニュアルの作成について、検討協議した。

(6) 職員研修

技術系及び事務系の職員研修を計画的に実施するとともに、人材育成専門機関の各種セミナーの受講を推進し、職員の資質及び技術力向上を図った。

6 社会貢献活動

(1) エコアクション21

このプログラムを通じて事業活動によって排出する二酸化炭素の抑制と廃棄物の削減に取り組んでその成果を上げている。

また、平成19年からの取り組みが評価され、一般財団法人持続性推進機構から10年継続事業者感謝状の表彰を受けた。

(2) 国際環境人材育成研修

福岡県では、アジア諸地域から今後の環境施策を担う中核行政官を招聘し、公害克服の経験を経て蓄積した環境技術、ノウハウ等を活用した人材育成研修を実施することにより、同地域における環境課題解決に貢献すると共に、事業発展の礎となるネットワークを構築し、環境ビジネス交流の推進を図ることを目指している。

この研修に協力し、浄化槽の現地研修を行い、個別汚水処理施設としての浄化槽の有効性について紹介した。

名称	研修員	実施日	研修内容
アセアン・インド環境管理コース	8名	11月14日	稼働している浄化槽の視察(飯塚市)

(3) インターンシップ

企業就業体験として教育機関が推進しているインターンシップでは、協力依頼のあった県立八女工業高校から2名、福岡大学から2名の生徒を受け入れた。

(4) ボランティア活動

昨年7月に発生した九州北部豪雨で被災した東峰村で、当協会の職員が計4回、延べ19名が土砂やがれきの撤去などのボランティア活動を行った。

事業報告/法人運営

一般財団法人福岡県浄化槽協会理事長表彰

平成30年度一般財団法人福岡県浄化槽協会理事長表彰が行われ、次の方々を受賞されました。
受賞されました皆様方には、心からお慶び申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。
(五十音順)

環境衛生功労者理事長表彰



石原 浩二 様
石原建設㈱



大森 忠勝 様
福岡垣クリーンセンター



大山 忠成 様
㈱日豊清掃センター



的野 博 様
すみきーる㈱

環境衛生功労者理事長感謝状



加藤 才次 様
共立エンジニアリング㈱

優良職員理事長表彰



島田 賢治
(一財)福岡県浄化槽協会
情報管理・企画部企画課課長



舟津 裕吏
(一財)福岡県浄化槽協会
福岡検査センター
水質検査課課長

事業報告/法人運営

一般社団法人全国浄化槽団体連合会会長表彰

平成30年度一般社団法人全国浄化槽団体連合会功労者表彰として、全浄連の総会において次の方が受賞されました。

この表彰は、一般社団法人全国浄化槽団体連合会の会員団体に属する事業者等が対象で、浄化槽事業の健全な向上、発展に貢献された方に贈られるものです。

表彰状



櫻木 徹行
(一財)福岡県浄化槽協会
情報管理・企画部情報管理課課長

事業報告

法人運営

普及啓発

検査事業

その他

情報

官庁情報

試験・講習

その他

浄化槽普及啓発活動の紹介

当協会では、浄化槽の普及啓発を目的とした以下の様な事業を行っております。各自治体、事業所、学校、子ども会等の各団体、グループ等で是非ご活用下さい。平日、休日を問わず、また費用負担もありませんので、お気軽にお問い合わせ下さい。※なお、対象地域は北九州市、大牟田市を除く福岡県内とさせていただきます。

○出前講座

浄化槽の普及啓発を目的に職員が出向き、限りある資源である「水」についての講義を専門知識を活かして行います。水の循環の話や体験型の実験などを通して、自分が使った水がどのようにしてキレイになっていくのかを学習することができます。小学生や一般の方向けに小学校や公民館で行っております。

○環境フェア等への出展

各自治体が開催する環境フェア等へ出向き、浄化槽を紹介しています。浄化槽をご使用の方をはじめ多くの方に幅広く知っていただけるよう、浄化槽について浄化槽ミニ模型やパネル、啓発チラシ等を取り揃えています。

○適正管理推進キャンペーン

浄化槽適正管理推進事業の一環として、広く県民に対し浄化槽の維持管理の重要性や法定検査の必要性を周知する街頭啓発を行っております。

啓発会場では、福岡県マスコットキャラクターである「エコトン」も登場します。また、アンケートにお答えいただいた方にはオリジナルトイレットペーパーを配付しています。

環境フェア等で使用する各種機材等

「環境フェア・出前講座のご案内」



浄化槽の普及啓発の一環として行っている出前講座や環境フェアの案内パンフレットです。申込み方法やプログラムを紹介しています。

A4版10ページ

「浄化槽ミニ模型」



3分の1スケールの浄化槽ミニ模型です。環境フェア等で展示しています。

サイズ：780mm × 625mm × 472mm

「トイレットペーパー」



浄化槽のイラストを掲載したトイレットペーパーです。環境フェア等において、浄化槽クイズに参加された方に提供しています。

「顕微鏡」



写真の顕微鏡は「微分干涉顕微鏡」といって、生きた微生物を鮮明に観察することができる優れた顕微鏡です。モニターも付いており、顕微鏡を覗かなくてもモニターで微生物の観察ができます。

「啓発パネル」

水の汚れの原因や浄化槽をはじめとする汚水処理施設を紹介するパネルです。(A1版:6枚)



浄化槽普及啓発資料の紹介

当協会では、浄化槽の普及啓発に関する資料を取り揃えておりますので、是非ご活用下さい。
詳しくは、協会事務局企画課(Tel.092-947-1800)までご連絡下さい。

普及啓発資料

「浄化槽の適正な管理をしていますか？」



A4版リーフレット

今年度、新たに作成した、浄化槽を適正に管理することの重要性を説明した内容のリーフレットです。

「浄化槽は生き物です」



A4版リーフレット

浄化槽の正しい使い方や、保守点検業者及び清掃業者との委託契約を促す内容となっています。

「浄化槽の法定検査を受けていますか？」



A4版リーフレット

浄化槽の法定検査の案内や保守点検及び清掃の必要性を説明した内容のリーフレットです。

「河川の浄化にご協力下さい!!」



A4版リーフレット

水の汚れる原因や浄化槽のしくみを分かりやすく解説しています。単独浄化槽及び汲み取り便所の利用者向けの内容となっています。

「わが町の環境を支える浄化槽」



A3版リーフレット

水の汚れる原因や浄化槽のしくみを分かりやすく解説しています。浄化槽設置者・未設置者問わない内容となっています。

事業報告/普及啓発 **出前講座の実施**

小学校学習指導要領の社会科4年生時では、「飲料水や電気、ガス、廃棄物の処理について、それらの事業を見学または調査することで、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えさせること。」とされています。

この趣旨を踏まえ、当協会では、毎年、小学校4年生を対象に、浄化槽の普及啓発を目的とした出前講座（環境学習）を実施しており、今年度は以下の日程で実施することとしています。

出前講座では、水の循環に関する講義だけでなく、実際に水の汚れを測ったり、微生物を観察したりすることで、身近な水環境の現状を知り、汚した水を浄化する技術や、これから自分たちにできることについて考える良い機会になっています。

また、筑紫保健福祉環境事務所が主催する出前講座（水辺教室）においても、「川の汚れについて」と題し、環境学習を実施しています。

実施済み

日程	対象小学校
5月15日	太宰府市立水城小学校(水辺教室)
5月17日	那珂川町立南畑小学校(水辺教室)
5月24日	那珂川町立安德南小学校(水辺教室)
5月28日	那珂川町立岩戸北小学校(水辺教室)
6月 8日	直方市立新入小学校
6月12日	大野城市立大野北小学校(水辺教室)
6月13日	添田町立津野小学校
6月14日	太宰府市立水城小学校
6月15日	行橋市立今元小学校
6月18日	田川市立鎮西小学校
6月20日	久留米市立荘島小学校
6月29日	行橋市立延永小学校
6月30日	福智町立市場小学校

実施予定

日程	対象小学校
7月11日	飯塚市立庄内小学校
7月12日	久留米市立合川小学校
7月13日	大野城市立平野小学校(水辺教室)
7月19日	豊前市立千束小学校
8月 7日	広川町 智徳区公民館(親子教室)
9月 6日	豊前市立黒土小学校
9月12日	八女市立上妻小学校
9月25日	糸島市立加布里小学校
10月 3日	桂川町立桂川小学校
10月 9日	東峰学園
10月12日	福智町立金田小学校
10月17日	上毛町立南吉富小学校
11月 8日	鞍手町立室木小学校

出前講座・水辺教室実施風景



5月15日(火)太宰府市立水城小学校(水辺教室)



5月17日(木)那珂川町立南畑小学校(水辺教室)



5月24日(木)那珂川町立安德南小学校(水辺教室)



5月28日(月)那珂川町立岩戸北小学校(水辺教室)



6月8日(金)直方市立新入小学校



6月12日(火)大野城市立大野北小学校(水辺教室)



6月13日(水)添田町立津野小学校



6月15日(金)行橋市立今元小学校



6月18日(月)田川市立鎮西小学校



6月20日(水)久留米市荘島小学校

事業報告

法人運営

普及啓発

検査事業

その他

情報

官庁情報

試験・講習

その他

事業報告/普及啓発 **環境フェアへの出展(久留米)**

6月3日(日)に久留米百年公園で開催された久留米市主催のくるめ環境フェアに出展しました。
当日は天候に恵まれ、小さなお子様をはじめ、多くの方々に当協会のブースに足を運んで頂きました。
ブースでは浄化槽の役割や仕組み等を浄化槽模型、パネル、冊子で紹介するとともに、浄化槽に関するクイズを出題し、浄化槽をPRしました。
「クイズ解答者にトイレトペーパープレゼント」はブース来場者に変好好評で大盛況の内に終了しました。

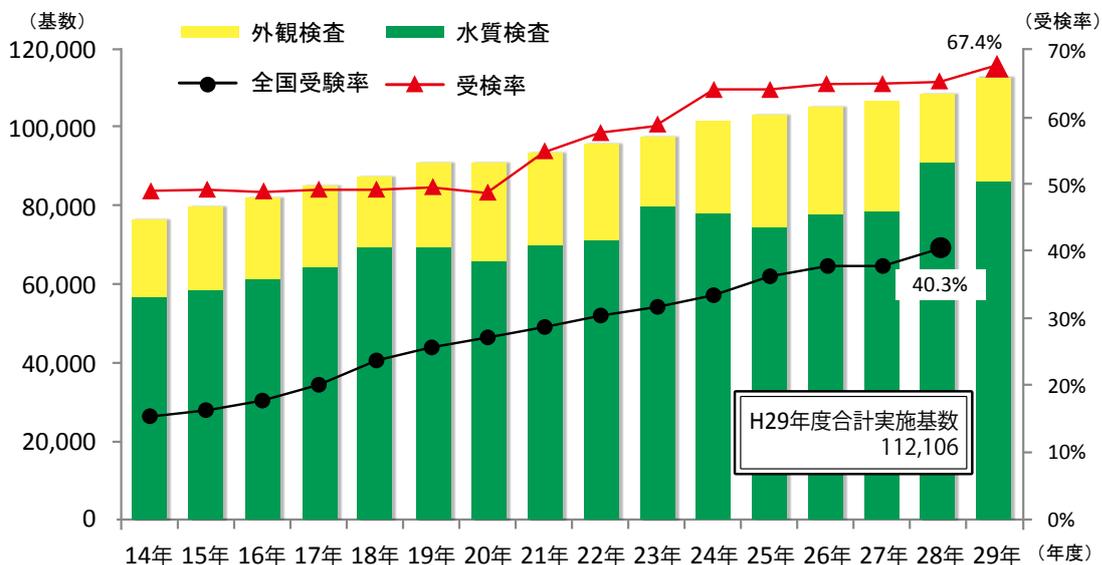


会場のようす

事業報告/検査事業 **クロスチェック委員会の報告**

5月21日(月)に平成30年度第1回クロスチェック委員会を協会事務局で開催しました。
委員会では、11条検査実績の推移及び平成29年度12月から3月までの11条検査の実施状況、スクリーニング検査の実施状況、現地調査の実施状況等についての審査が行われました。報告内容の概要は、以下のとおりです。

1. 11条検査の実績の推移



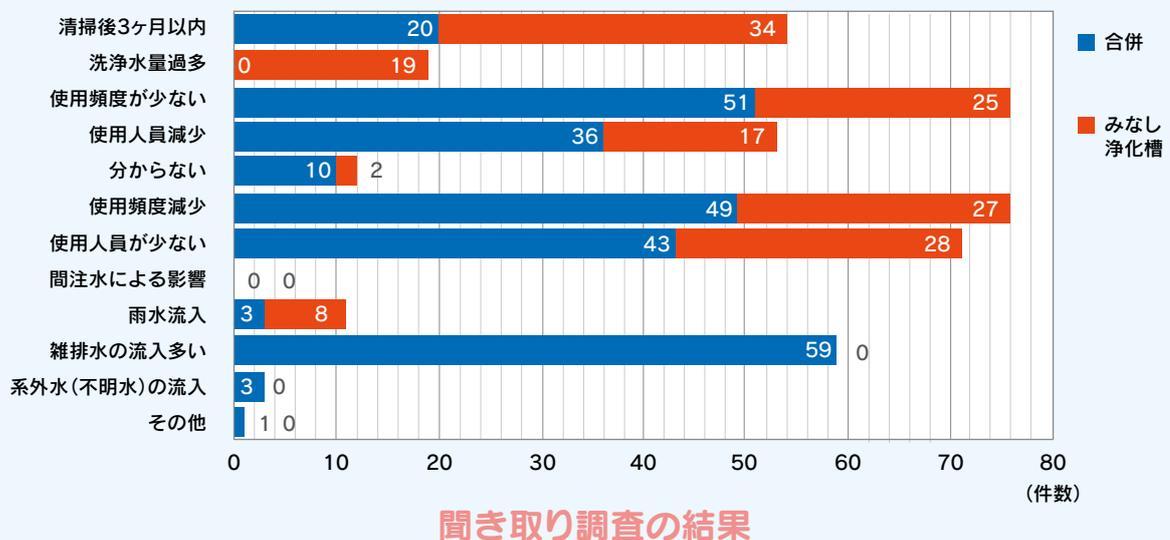
2. 平成29年度12月から3月分の水質検査基数や現地調査基数等は次のとおりです。

(件)

センター名	項目	12月	1月	2月	3月	合計
福岡	水質検査基数	1,171	1,386	1,267	1,180	5,004
	スクリーニング検査基数※1	57	75	84	83	299
	フォロー検査基数※2	2	10	10	14	36
	聞き取り調査実施数※3	30	36	32	23	121
	現地調査基数※4	0	1	1	0	2
筑後	水質検査基数	2,562	2,634	2,710	2,371	10,277
	スクリーニング検査基数	131	206	252	264	853
	フォロー検査基数	7	13	2	13	35
	聞き取り調査実施数	31	35	51	60	177
	現地調査基数	0	1	2	0	3
筑豊	水質検査基数	2,592	2,901	3,197	2,919	11,609
	スクリーニング検査基数	162	340	397	401	1,300
	フォロー検査基数	27	24	31	24	106
	聞き取り調査実施数	34	35	32	36	137
	現地調査基数	2	2	2	1	7
合計	水質検査基数	6,325	6,921	7,174	6,470	26,890
	スクリーニング検査基数	350	621	733	748	2,452
	フォロー検査基数	36	47	43	51	177
	聞き取り調査実施数	95	106	115	119	435
	現地調査基数	2	4	5	1	12

- ※1 スクリーニング検査とは、BODが一定基準を超過した場合などに行う検査です。
- ※2 フォロー検査とは、前年度外観検査で「不適正」と判定された浄化槽について、「不適正」な箇所の改善状況の確認を行う検査です。
- ※3 塩化物イオン濃度が一定基準を下回った場合は、採水状況を確認するため、指定採水員の方に塩化物イオン濃度の原因について聞き取り調査を実施します。
- ※4 現地調査とは、塩化物イオン濃度が一定基準を下回ったが、その原因がわからない場合に行う調査です。

また、聞き取り調査の結果は、次のとおりです。(浄化槽:275件、みなし浄化槽:160件)

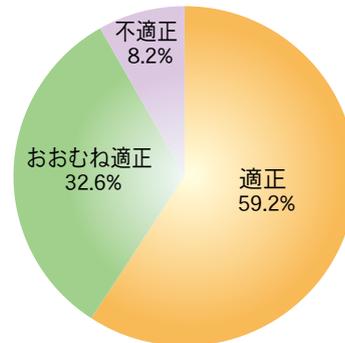


事業報告/検査事業 法定検査結果について

平成29年度の法定検査実施状況は、次のとおりです。

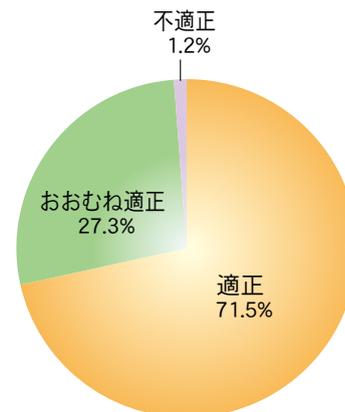
7条検査実績

保健福祉環境 事務所等	検査基数	判定			不適正率
		適正	おおむね適正	不適正	
筑紫	169	104	51	14	8.3%
宗像・遠賀	156	86	33	37	23.7%
嘉穂・鞍手	983	505	393	85	8.6%
北筑後	128	86	31	11	8.6%
南筑後	1,110	759	317	34	3.1%
京築	543	292	183	68	12.5%
福岡市	7	3	2	2	28.6%
久留米市	197	114	64	19	9.6%
合計	3,293	1,949	1,074	270	8.2%
割合	—	59.2%	32.6%	8.2%	—



11条検査実績

保健福祉環境 事務所等	検査基数	判定			不適正率
		適正	おおむね適正	不適正	
筑紫	6,513	4,916	1,575	22	0.3%
宗像・遠賀	6,654	4,737	1,829	88	1.3%
嘉穂・鞍手	30,705	21,185	9,065	455	1.5%
北筑後	7,525	5,620	1,838	67	0.9%
南筑後	35,662	26,163	9,218	281	0.8%
京築	13,940	9,856	3,757	327	2.3%
福岡市	265	185	78	2	0.8%
久留米市	10,843	7,527	3,201	115	1.1%
合計	112,107	80,189	30,561	1,357	1.2%
割合	—	71.5%	27.3%	1.2%	—



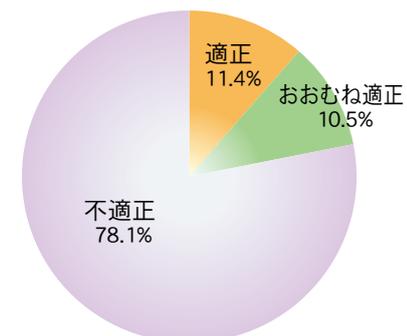
フォロー検査実績

平成29年度のフォロー検査実施状況は、次のとおりです。

対象となった浄化槽 667基のうち、146基(21.9%)が「適正」または「おおむね適正」と判定されました。

※フォロー検査とは、前年度の外観・書類検査において、特定の検査項目が「不可」と判断されたことにより「不適正」と判定された浄化槽を対象に、水質検査に加え外観検査を実施すること。

	検査基数 合計	判定		
		適正	おおむね適正	不適正
検査基数	667	76	70	521
割合	—	11.4%	10.5%	78.1%
改善率	—	21.9%		—



平成29年における市町村別の7条検査実施時に保守点検が実施されていなかった「無管理」浄化槽の基数は次のとおりです。

保健福祉環境事務所等	市町村	7条検査		
		実施基数	無管理数	無管理率
筑紫	筑紫野市	4	1	25.0%
	春日市	0	—	—
	大野城市	1	1	100.0%
	太宰府市	2	1	50.0%
	糸島市	158	10	6.3%
	那珂川町	4	0	0.0%
	計	169	13	7.7%
宗像・遠賀	中間市	8	2	25.0%
	宗像市	7	1	14.3%
	古賀市	30	9	30.0%
	福津市	1	0	0.0%
	宇美町	33	7	21.2%
	篠栗町	5	1	20.0%
	志免町	0	—	—
	須恵町	12	6	50.0%
	新宮町	27	9	33.3%
	久山町	4	1	25.0%
	粕屋町	2	0	0.0%
	芦屋町	0	—	—
	水巻町	16	0	0.0%
	岡垣町	3	0	0.0%
	遠賀町	8	0	0.0%
計	156	36	23.1%	
嘉穂・鞍手	直方市	102	4	3.9%
	飯塚市	295	13	4.4%
	田川市	131	9	6.9%
	宮若市	62	4	6.5%
	嘉麻市	99	2	2.0%
	小竹町	15	2	13.3%
	鞍手町	26	1	3.8%
	桂川町	55	1	1.8%
	香春町	30	7	23.3%
	添田町	25	1	4.0%
	糸田町	21	1	4.8%
	川崎町	45	2	4.4%
	大任町	23	1	4.3%
	赤村	11	2	18.2%
福智町	43	6	14.0%	
計	983	56	5.7%	

保健福祉環境事務所等	市町村	7条検査		
		実施基数	無管理数	無管理率
北筑後	小郡市	11	0	0.0%
	うきは市	5	0	0.0%
	朝倉市	100	6	6.0%
	筑前町	2	0	0.0%
	東峰村	10	1	10.0%
	大刀洗町	0	—	—
	計	128	7	5.5%
	南筑後	柳川市	301	5
八女市		209	6	2.9%
筑後市		206	11	5.3%
大川市		111	2	1.8%
みやま市		142	2	1.4%
大木町		76	0	0.0%
広川町		65	2	3.1%
計		1,110	28	2.5%
京築		行橋市	282	35
	豊前市	62	8	12.9%
	苅田町	60	5	8.3%
	みやこ町	51	1	2.0%
	吉富町	24	1	4.2%
	上毛町	41	0	0.0%
	築上町	23	5	21.7%
	計	543	55	10.1%
	福岡市	東区	4	0
博多区		1	0	0.0%
中央区		0	—	—
南区		0	—	—
西区		1	0	0.0%
城南区		0	—	—
早良区		1	0	0.0%
計		7	0	0.0%
久留米市		旧久留米市	34	3
	旧三潴町	92	9	9.8%
	旧城島町	21	0	0.0%
	旧田主丸町	26	2	7.7%
	旧北野町	24	1	4.2%
	計	197	15	7.6%
合計	3,293	210	6.4%	

事業報告

法人運営

普及啓発

検査事業

その他

情報

官庁情報

試験・講習

その他

協会行事録(平成30年4月～6月)

日付	行事内容	開催地	会場
4月 3日(火)	省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業説明会	東京都	ホテルグランドヒル市ヶ谷
4月27日(金)	第1回適正点検調査報告書審査会	篠栗町	当協会役員室
5月 7日(月)	県監査	篠栗町	当協会役員室
5月11日(金)	平成29年度監事監査	篠栗町	当協会役員室
〃	福岡県環境計量証明事業協会社員総会	福岡市博多区	パピヨン21
5月15日(火)	水辺教室	太宰府市	水城小学校
5月17日(木)	水辺教室	那珂川町	南畑小学校
5月18日(金)	法定検査課長会議	篠栗町	当協会役員室
5月21日(月)	クロスチェック委員会	篠栗町	当協会役員室
5月22日(火)	第15回常任理事会・第22回理事会	福岡市博多区	八仙閣
5月23日(水)	全浄連理事会	東京都	ホテルグランドヒル市ヶ谷
〃	福岡県浄化槽推進協議会総会	福岡市博多区	福岡生活衛生食品会館
5月24日(木)	水辺教室	那珂川町	安德南小学校
5月25日(金)	福岡県環境整備事業協同組合連合会総会	福岡市博多区	ホテルオークラ福岡
〃	BOD超過原因調査検討会議	久留米市	筑後検査センター
5月28日(月)	主任(層)研修	久留米市	筑後検査センター
〃	水辺教室	那珂川町	岩戸北小学校
6月 3日(日)	くるめ環境フェア	久留米市	百年公園
6月 8日(金)	全浄連九地協・九指協合同総会	大分市	全労済ソレイユ
〃	出前講座	直方市	新入小学校
6月12日(火)	水辺教室	大野城市	大野北小学校
6月13日(水)	全浄連理事会	東京都	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
〃	出前講座	添田町	津野小学校
6月14日(木)	出前講座	太宰府市	水城小学校
6月15日(金)	事業推進会議	篠栗町	当協会役員室
〃	出前講座	行橋市	今元小学校
6月18日(月)	水質検査課WG会議	田川市	筑豊検査センター
〃	出前講座	田川市	鎮西小学校
6月19日(火)	第15回評議員会	福岡市博多区	八仙閣
6月20日(水)	出前講座	久留米市	荘島小学校
〃	法定検査課WG会議	久留米市	筑後検査センター
6月22日(金)	水質改善事例集作成委員会	福岡市博多区	TKPビジネスセンター
6月25日(月)	浄化槽管理士講習 ～7/7	福岡市博多区	福岡生活衛生食品会館
6月27日(水)	「指摘事例写真集」編集委員会	久留米市	筑後検査センター
6月28日(木)	適正点検調査報告書審査会	篠栗町	当協会役員室
〃	水質検査課長会議	篠栗町	当協会役員室
6月29日(金)	全浄連総会 / 全浄連功労者授賞式	東京都	ホテルグランドヒル市ヶ谷
〃	出前講座	行橋市	延永小学校
6月30日(土)	出前講座	福智町	市場小学校

情報

官庁情報

省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業について

環境省 実施事業

平成30年度 二酸化炭素排出抑制 対策事業費等補助金
(省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業)

【平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業)】は、既設中・大型合併処理浄化槽の処理工程におけるエネルギー起因二酸化炭素の排出抑制を図るために高効率な機械設備等を導入する事業に要する経費の一部を補助することで、地球環境及び生活環境の保全に資することを目的としています。

対象となる事業は以下の2種類です。

Type 1
51人槽以上の既設合併処理浄化槽について、エネルギー起因二酸化炭素の排出を抑制できる、高効率機械設備(最新型機器(高効率プロップ等)へと改修する、もしくはインバーター制御装置を導入する事業
※取組費の2分の1を補助

Type 2
旧機基準に基づき設置された101人槽以上の大型合併処理浄化槽(プロップを使用するものに限る)について、構造の更新やコンパクト化によって高い省エネルギー効果が期待されるような浄化槽本体の交換事業
※取組費が概算する工事費の2分の1を補助

※いずれの場合も、原則として下水道法に基づく指定区域以外に於ける農業集排水施設、農業集排水施設を除く浄化槽が対象となります。

公募期間：平成30年4月～10月31日

環境省では、昨年度から引き続き「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業)」を実施しています。

実施期間は平成29年度から平成33年度(予定)で、本年度の公募期間は10月31日までとなっています。

平成30年度から補助対象が拡大されておりますので、ぜひご活用ください。

詳しくは、当協会検査課または、この事業の執行団体である「一般社団法人全国浄化槽団体連合会」にお問い合わせ下さい。

一般社団法人全国浄化槽団体連合会
03-3267-9757
<http://www.zenjohren.or.jp>

情報/官庁情報

環境情報記事(2018.4.1)

2 2018.4.1 No.841

Environmental information

(毎月1日,11日,21日発行)

参議院

公設単独槽の転換や負担軽減求める

公明・河野義博参議院議員が国会質問

3月23日の参議院環境委員会で、公明党の河野義博参議院議員(=写真)から単独処理浄化槽の合併転換促進に関して質問があった。庁舎や学校など、地方公共団体所有の単独処理浄化槽(公設単独槽)が4万3293基存在する現状を指摘し、公設単独槽を優先して転換する必要性を訴えたほか、個人設置の浄化槽についても配管費の補助を行い、負担軽減を図る必要があると主張した。

単独処理浄化槽は平成28年度末時点で全国に約400万基設置されているが、合併処理浄化槽に比べ汚濁負

荷が高く、平成13年度には新設が禁止され、現在は合併処理浄化槽への転換努力義務が課せられている。

河野議員は質問で、単独槽の合併転換を加速化させるべきとの考えを述べた上で、①廃棄物処理施設整備計画での浄化槽普及拡大方策②公設単独槽の転換促進③転換に係る配管工事費への補助の3項目を取り上げた。

廃棄物処理施設整備計画について



は、平成30年度で見直し時期を迎える同計画において、単独槽の合併転換を含めた浄化槽のさらなる普及拡大を求めたもの。答弁には中川雅治環境大臣が立ち、「計画には単独槽の転換を含め、浄化槽の普及拡大を位置づけたい。その上で必要な方策について検討、取り組んでまいりたい」と回答した。

また公設単独槽は、平成28年度末時点で全国に400万基残存する単独処理浄化槽のうち、庁舎や学校、公営住宅など、4万3293基が地方公共団体の所有となっている問題を指したもので、河野議員は「公設単独槽の合併転換も助成対象となっているようだが、手を挙げる自治体が少ない。周知等を図り、まずは公共からしっかり換えていくべきと考えるがどうか」と質問した。

これについても中川環境大臣から「公的施設単独処理浄化槽集中転換事業を28年度に創設したが、実績はまだ多くない。事業推進へ浄化槽トップセミナーを開催し、首長の方々に直接働きかけたい。また各種会議等でも行政担当者に周知してまいりたい」と答弁があった。

また配管工事費への補助は、「国の補助制度はないが、埼玉県では23年度、和歌山県でも30年度から独自に補助を行うと聞いている。こうした動きを加速させるためにも、検討の余地はあるのではないかと質問したところ、環境省環境再生・資源循環局の山本昌宏次長が「合併転換の個人負担が大きいという課題は認識している。先進的な地方公共団体の取り組みも参考にしながら検討してまいりたい」と考えを述べた。

福岡県内市町村の浄化槽に関する補助事業等実施一覧

(平成28年度末現在)

		汚水処理人口普及率 (%)	浄化槽設置整備事業の実施状況	浄化槽市町村整備推進事業の実施状況	市町村単独の浄化槽整備事業の実施状況	既設単独処理浄化槽、既設単独処理浄化槽の撤去に関する補助の状況	維持管理費用に対する補助を行っている市町村の状況
福岡地区	福岡市	99.9	○				
	筑紫野市	99.1	○				
	春日市	100.0					
	大野城市	100.0					
	宗像市	99.4	○			○	○
	太宰府市	99.7	○				
	古賀市	97.1	○				
	福津市	99.1	○				
	糸島市	87.8	○		○		
	那珂川町	99.6			○		
	宇美町	96.4	○				
	篠栗町	97.8	○			○	
	志免町	99.9					
	須恵町	92.7					
	新宮町	95.6	○				
久山町	94.9						
粕屋町	98.7						
北九州地区	北九州市	99.9	○				
	行橋市	55.2	○				
	豊前市	66.8	○				
	中間市	92.3	○				
	芦屋町	100.0					
	水巻町	91.0	○				
	岡垣町	99.7	○				
	遠賀町	96.3	○			○	
	苅田町	90.4	○			○	
	みやこ町	69.2	○				○
	吉富町	78.5	○				
	上毛町	61.5	○				
	築上町	61.4	○				
筑後地区	大牟田市	75.7	○			○	
	久留米市	93.8	○	○			○
	柳川市	75.1	○			○	
	八女市	56.8	○		○		
	筑後市	65.9	○				
	大川市	66.9	○				
	小郡市	94.8	○				
	うきは市	96.2	○	○			○
	朝倉市	72.5	○	○			
	みやま市	53.4	○	○	○		
	筑前町	99.6	○				○
	東峰村	59.5	○				○
	大刀洗町	99.9					
	大木町	81.6	○			○	
	広川町	78.6	○				
筑豊地区	直方市	66.1	○				
	飯塚市	79.3	○				
	田川市	60.3	○				
	宮若市	45.4	○				
	嘉麻市	41.7	○				
	小竹町	41.3	○				
	鞍手町	62.4	○			○	
	桂川町	42.6	○				
	香春町	65.6		○	○	○	
	添田町	32.3	○			○	
	糸田町	36.4	○				
	川崎町	29.9	○			○	
	大任町	34.5	○				
	赤村	45.6	○		○	○	
	福智町	32.6	○				
福岡県全体	91.5%	50	5	6	12	6	

※出典:平成28年度末の汚水処理人口普及状況について(環境省) ※出典:平成29年度浄化槽の指導普及に関する調査結果(環境省)

事業報告
法人運営
普及啓発
検査事業
その他
情報
官庁情報
試験・講習
その他

福岡県浄化槽整備事業補助金について

平成29年度 福岡県浄化槽整備事業補助金額の確定 集計表

①小型浄化槽設置整備事業（個人設置型）

①-1 小型浄化槽設置整備事業

43 市町村

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~40	41~50		
大牟田市	72	41	2	25	0	0	1	0	2	0	1	0	29,615	9,871
久留米市	129	85	0	35	1	3	3	0	0	1	0	1	47,552	15,850
直方市	90	60	0	23	0	2	0	0	0	3	1	1	34,288	11,429
飯塚市	228	168	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	80,436	26,812
田川市	110	77	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	39,226	13,075
柳川市	248	169	0	68	0	5	0	0	2	2	1	1	90,288	30,096
八女市	186	94	0	90	0	2	0	0	0	0	0	0	69,564	23,188
筑後市	141	96	0	41	0	3	0	0	1	0	0	0	50,984	16,994
大川市	94	53	0	38	0	3	0	0	0	0	0	0	34,736	11,578
行橋市	173	121	0	51	0	1	0	0	0	0	0	0	55,491	18,497
豊前市	56	33	0	22	0	1	0	0	0	0	0	0	20,612	6,870
中間市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小郡市	5	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1,824	608
筑紫野市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	414	138
宗像市	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	664	221
太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古賀市	9	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3,234	1,078
福津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮若市	33	20	0	11	0	1	0	0	0	1	0	0	12,485	4,161
嘉麻市	95	65	0	26	0	2	2	0	0	0	0	0	34,926	11,642
朝倉市	11	5	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3,350	1,116
みやま市	21	10	0	10	0	0	0	0	0	0	1	0	8,008	2,669
糸島市	110	80	0	29	0	1	0	0	0	0	0	0	39,114	13,038
宇美町	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,320	1,106
篠栗町	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	746	248
新宮町	10	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3,566	1,188
水巻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡垣町	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	996	332
遠賀町	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	746	248
小竹町	8	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2,779	926
鞍手町	18	7	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	7,012	2,337
桂川町	31	24	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	10,866	3,622
筑前町	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	746	248
東峰村	9	0	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	4,128	1,376
大木町	68	47	0	15	0	2	1	1	0	2	0	0	22,642	7,547
広川町	58	36	0	20	0	2	0	0	0	0	0	0	21,328	7,109
添田町	17	11	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6,270	2,090
糸田町	22	14	0	5	0	1	1	0	0	1	0	0	7,263	2,421
川崎町	33	19	0	13	0	1	0	0	0	0	0	0	12,238	4,079
大任町	15	7	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	5,770	1,923
赤村	9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3,070	1,023
福智町	40	28	0	8	0	4	0	0	0	0	0	0	14,800	4,933
苜田町	70	62	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	23,896	7,965
みやこ町	45	28	0	14	0	3	0	0	0	0	0	0	16,736	5,578
吉富町	6	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2,238	746
上毛町	43	22	0	18	0	3	0	0	0	0	0	0	16,400	5,466
築上町	21	10	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	8,008	2,669
計	2,356	1,541	2	733	1	48	8	1	5	10	4	3	852,375	284,111

②浄化槽市町村整備推進事業等（糸島市及び那珂川町は個別排水処理施設整備事業）

7 市町

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~40	41~50		
久留米市	16	7	0	8	0	0	0	1	0	0	0	0	16,989	1,274
うきは市	7	1	0	3	0	0	0	2	1	0	0	0	12,870	965
朝倉市	52	18	0	25	0	3	1	2	0	2	1	0	54,796	4,109
みやま市	122	58	0	50	0	7	3	0	2	0	0	2	134,576	10,093
香春町	51	29	0	12	0	2	8	0	0	0	0	0	55,738	4,180
糸島市	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2,721	204
那珂川町	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,880	141
計	253	115	0	101	0	12	12	5	3	2	1	2	279,570	20,966

小型浄化槽設置整備事業、浄化槽市町村整備推進事業等計

49 市町村（①と②の重複除く）

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~40	41~50		
計	2,609	1,656	2	834	1	60	20	6	8	12	5	5	1,140,375	309,247
予算額（2月補正後）														341,915
残高														32,668

平成30年度 福岡県浄化槽整備事業補助金交付申請・決定 集計表

①小型浄化槽設置整備事業（個人設置型）

①-1 小型浄化槽設置整備事業

47 市町村

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~40	41~50		
大牟田市	130	80	0	42	0	2	1	1	1	1	1	1	53,194	17,731
久留米市	156	106	0	40	0	4	2	1	0	1	1	1	57,232	19,077
直方市	100	55	0	25	0	5	0	5	0	5	0	5	42,600	14,200
飯塚市	220	97	0	117	0	6	0	0	0	0	0	0	83,405	27,801
田川市	120	42	0	74	0	4	0	0	0	0	0	0	46,772	15,590
柳川市	270	149	0	107	0	8	1	1	1	1	1	1	101,438	33,812
八女市	220	85	0	130	0	5	0	0	0	0	0	0	84,780	28,260
筑後市	135	69	0	62	0	4	0	0	0	0	0	0	50,768	16,922
大川市	100	25	0	70	0	5	0	0	0	0	0	0	39,600	13,200
行橋市	205	120	0	80	0	5	0	0	0	0	0	0	67,500	22,500
豊前市	70	31	0	37	0	2	0	0	0	0	0	0	26,706	8,902
中間市	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	960	320
小郡市	6	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2,152	717
筑紫野市	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,078	359
宗像市	6	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2,454	818
太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古賀市	17	13	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5,972	1,990
福津市	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	828	276
うきは市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	414	138
宮若市	68	30	0	30	0	5	3	0	0	0	0	0	27,349	9,116
嘉麻市	134	57	0	67	0	5	3	0	2	0	0	0	54,041	18,013
朝倉市	30	7	0	18	0	2	0	0	1	1	1	0	11,300	3,766
みやま市	30	10	0	15	0	5	0	0	0	0	0	0	12,270	4,090
糸島市	110	40	0	68	0	2	0	0	0	0	0	0	42,528	14,176
宇美町	9	7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3,275	1,091
篠栗町	10	3	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	3,894	1,298
新宮町	14	12	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4,812	1,604
水巻町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,096	365
岡垣町	5	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1,906	635
遠賀町	5	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2,029	676
小竹町	10	5	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3,980	1,326
鞍手町	25	10	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	9,530	3,176
桂川町	46	25	0	20	0	1	0	0	0	0	0	0	17,128	5,709
筑前町	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	746	248
東峰村	21	9	0	10	0	0	0	1	1	0	0	0	9,272	3,090
大木町	79	40	0	30	0	4	1	1	1	1	1	0	32,045	10,681
広川町	62	34	0	27	0	1	0	0	0	0	0	0	23,014	7,671
添田町	29	15	0	12	0	2	0	0	0	0	0	0	11,044	3,681
糸田町	25	8	0	16	0	1	0	0	0	0	0	0	9,828	3,276
川崎町	30	14	0	15	0	1	0	0	0	0	0	0	11,406	3,802
大任町	15	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	6,210	2,070
赤村	20	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	7,460	2,486
福智町	39	23	0	14	0	1	0	1	0	0	0	0	14,919	4,973
苅田町	74	60	0	10	0	4	0	0	0	0	0	0	26,252	8,750
みやこ町	60	25	0	33	0	1	0	1	0	0	0	0	23,181	7,727
吉富町	15	7	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	5,636	1,878
上毛町	50	30	0	19	0	1	0	0	0	0	0	0	18,374	6,124
築上町	23	6	0	15	0	2	0	0	0	0	0	0	9,298	3,099
計	2,805	1,372	3	1,281	1	90	12	12	7	11	5	11	1,071,676	357,210

②浄化槽市町村整備推進事業等（糸島市及び那珂川町は個別排水処理施設整備事業）

7 市町

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~40	41~50		
久留米市	19	7	0	9	0	1	0	0	0	0	0	2	28,095	2,107
うきは市	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10,430	782
朝倉市	57	5	0	47	0	2	1	0	1	0	1	0	54,950	4,121
みやま市	200	80	0	110	0	10	0	0	0	0	0	0	195,440	14,658
香春町	50	22	0	15	0	2	10	1	0	0	0	0	59,985	4,498
糸島市	20	0	0	0	0	9	10	0	0	1	0	0	36,726	2,754
那珂川町	19	10	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	18,753	1,406
計	375	124	0	197	0	27	21	1	1	1	1	2	404,379	30,326

小型浄化槽設置整備事業、浄化槽市町村整備推進事業等計

49 市町村（①と②の重複除く）

事業主体	補助 基数	人槽別内訳											基本額 (千円)	補助額 (千円)
		5	6	7	8	9~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~40	41~50		
計	3,180	1,496	3	1,478	1	117	33	13	8	12	6	13	1,529,675	413,296
当初予算額													490,883	
残高													77,587	

平成30年度浄化槽関係試験・講習会日程表

今年度の試験・講習会は、以下の日程で実施される予定です。

会場、日程、料金等変更になる可能性がありますのでご注意下さい。

試験・講習会	料 金	実施期間	会 場	申請書販売料金
浄化槽設備士 国家試験	22,500円	7月8日(日)	九州ビル 福岡市博多区博多駅南1-8-31 TEL:092-461-1112	申請書代金1部300円 現金書留及び郵便小為替にて (申請書+送料) 1部:440円 2部:850円
浄化槽管理士 国家試験	20,200円	10月28日(日)	南近代ビル 福岡市博多区博多駅南4-2-10 TEL:092-431-4343	申請書代金1部200円 現金書留及び郵便小為替にて (申請書+送料) 1部:340円 2部:650円
浄化槽管理士 講習	129,700円 ※1	9月3日(月) ~9月15日(土)	福岡生活衛生食品会館 福岡市博多区千代1-2-4 TEL:092-651-5553	申請書代金1部300円 現金書留及び郵便小為替にて (申請書+送料) 1部:440円 2部:850円 3部:1280円
		平成31年(2019年) 2月25日(月) ~3月9日(土)		
浄化槽設備士 講習	86,700円 ※2	11月26日(月) ~11月30日(金)	福岡県自治会館 福岡市博多区千代4-1-27 TEL:092-651-4284	
浄化槽技術管理者 講習会	49,000円	平成31年(2019年) 1月23日(水) ~1月25日(金)	福岡生活衛生食品会館 福岡市博多区千代1-2-4 TEL:092-651-5553	申請書は無料です 「切手」を郵送下さい (送料) 1部:140円 2部:250円 3~5部:380円

※1 浄化槽設備士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、120,200円

※2 浄化槽管理士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、81,700円

■ 申請書の請求および申し込み先

講 習	一般財団法人 福岡県浄化槽協会 〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2 TEL:092-947-1800 FAX:092-947-3636
国家試験	公益財団法人 日本環境整備教育センター 国家試験グループ宛 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL:03-3635-4881 FAX:03-3635-4886

■ 免状の申請および再交付先

設備士関係	国土交通省 九州地方整備局 建政部計画・建設産業課 建設業係 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎別館 TEL:092-471-6331 FAX:092-476-3511
管理士関係	公益財団法人 日本環境整備教育センター 免状交付担当宛 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-3 TEL:03-3635-4881 FAX:03-3635-4886

その他

フジクリーン工業(株)福岡支店が田川市に浄化槽ミニチュアモデルを寄贈

4月17日(火)、フジクリーン工業(株)福岡支店の永田支店長は田川市を訪れ「浄化槽ミニチュアモデル」を市に寄贈しました。

このミニチュアモデルは、合併処理浄化槽の構造や仕組みをわかりやすく伝えるため、サイズを縮小し透明に加工した特注品で、環境省が作成した「浄化槽による生活排水の処理とは」と「浄化槽の仕組み」の大型パネルと一緒に、田川市役所玄関ロビーにて展示されています。

二場市長は、今回の寄贈にあたり「どのように汚水が浄化されるのかが良くわかるので、理解が進むと思う。今回の寄贈を機に、啓発を進めていきたい。」とコメントしています。



左から、二場田川市長、フジクリーン工業(株)福岡支店 永田支店長、同 美術課長(写真:田川市提供)

また、田川市では、広報たがわ(6月1日号)に「ふるさとの未来を考える」と題して、市全域の合併処理浄化槽整備に関する記事を掲載しています。

ふるさとの未来を考える
—市全域の合併処理浄化槽整備を目指して—

【生活排水は、下水道ではなく「合併処理浄化槽」できれいにします】
平成28年10月、本市はこの宣言とともに、未来を見据えた大きな舵を切りました。この特集では、平成31年度からの新制度の実施に向けて、本市がなぜ「合併処理浄化槽」を選んだのかを説明します。

▲山川にサケの稚魚を放流する伊田小学校の児童

【視点4】災害への備えも万全にしたい
・下水道処理場の被災で全域の汚水処理が不能に
・広範囲で排水管が破壊。復旧に時間がかかる

【視点2】公平な住民サービスを提供したい
公平な住民サービスになっているの？
下水道で整備する区域
合併処理浄化槽で整備する区域

事業報告
法人運営
普及啓発
検査事業
行事
情報
官庁情報
試験・講習
その他

その他

「柳川掘割物語」の追悼上映会が開催されました

4月に逝去された映画監督の高畑勲さんが監督した「柳川掘割物語」の追悼上映会が、5月20日(日)に「水の会」「柳川市」の共催で、柳川市の「水の郷ホール」において開催されました。

この物語は、柳川市に無数にある掘割が生活排水などにより荒廃し、柳川市の職員が中心となって、市民とともに掘割の清掃活動や浄化槽の設置による生活排水の改善を目指すなど、水の再生について描かれたドキュメンタリー映画であり、昭和62年に公開されたものです。

当日は、500名の参加があり、上映会と撮影に関わった方などの座談会も開催され、当時の撮影秘話や思い出が語られました。

また、「水の会」からの要請により、当協会から浄化槽のチラシ等の提供を行い、来場者に配付されました。



座談会のようす



会場のようす

その他

指定採水員指定講習会(更新)兼浄化槽技術研修会の開催のお知らせ

標記講習会を以下の日程で開催します。

日程	開催場所	所在地
10月30日(火)	サンレイクかすや	糟屋郡粕屋町駕与丁1丁目6-1
11月 9日(金)	三潯生涯学習センター	久留米市三潯町玉満2949番地1
11月14日(水)	イヅカコスモスコモン	飯塚市飯塚14番66号

この講習会は、更新を迎える指定採水員の方を対象とした「指定採水員(更新)講習会」と、浄化槽業務に関わる全ての方を対象とした「浄化槽技術研修会」を兼ねて開催するものです。皆様方の業務に役立つ内容となっておりますので、ぜひ、ご参加ください。

なお、平成31年3月31日で更新を迎える指定採水員の方は、必ず参加して頂きますようお願いいたします。

また、更新時期でない指定採水員の方が受講されますと、更新要件が満たされ、次回の更新期限が平成34年3月31日に延長されます。

指定採水員でない方は、この講習会を受講しても「指定採水員」には指定されませんのでご注意ください。これから新たに指定採水員になろうとする方は、別途開催されます「指定採水員(新規)講習会」を受講してください。(9月と2月にクリエイト篠栗で開催予定です。)

詳細につきましては、後日、各事業所に改めてご案内いたします。

Q

沈殿槽、処理水槽の底部汚泥を測定したところ、汚泥の堆積がありました。汚泥を簡易的に移送する方法はありますか？

A

ホームセンター等で販売している道具を用いた移送方法があります。以下の、道具を組み合わせることで底部汚泥を移送する簡易ポンプを作ることができます。

使用する道具

- ① 灯油を移送するポンプ(ドラム缶用)
- ② 塩ビ管(①と接続することで浄化槽底部の深いところまで届きます)
- ③ ビニールテープ(①と②を固定するために使用します)

簡易ポンプ外観図



今回は、全長2.3mの物を作成

使用風景

処理水槽底部の汚泥を引き抜き実施



底部汚泥は嫌気ろ床槽1室に移送



(公財)鹿児島県環境保全協会が作成した道具を参考に作成

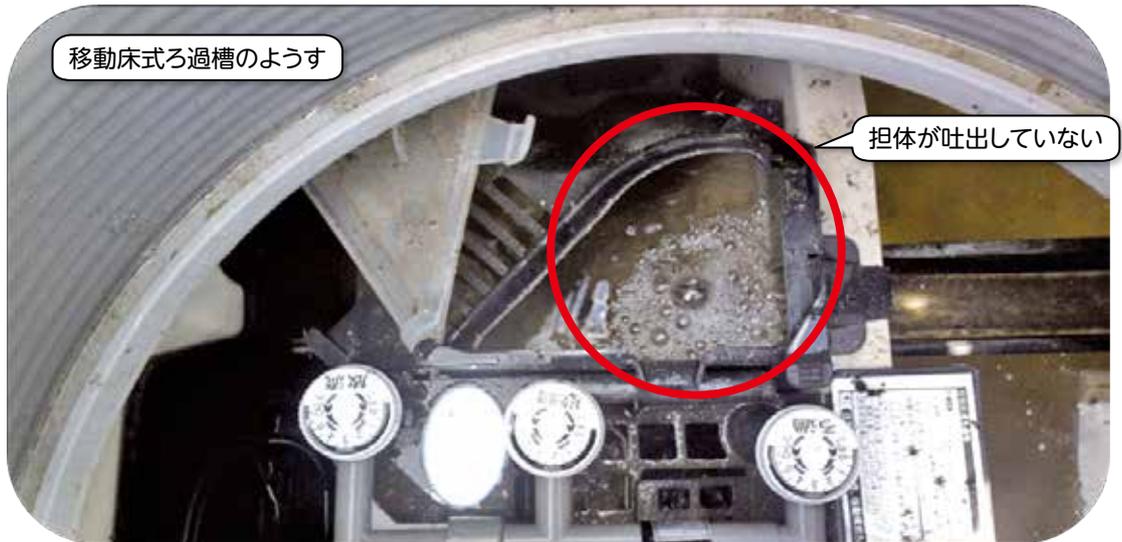
その他

法定検査の指摘事例

浄化槽法定検査における指摘事例を紹介します。

状況

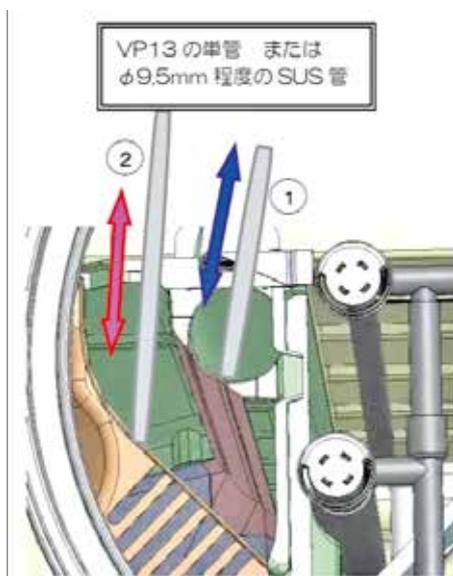
移動床式ろ過槽が閉塞しており、担体が吐出していない状況です。



指摘理由

移動床式ろ過槽が閉塞することで、浮遊物質の補足・除去ができず処理機能に影響を与える恐れがあるため、指摘対象となります。

改善方法



- 1) 移動床式ろ過槽に設けている点検口を開けます。その下にエアリフトポンプの開口部が見えますので、担体が吐出しているか確認して下さい。
- 2) 担体が吐出していない場合は、ろ過槽の閉塞が考えられます。
- 3) エアリフトポンプ開口部から、VP13の単管あるいはφ9.5mm程度のSUS管を挿入し、担体の引っ掛かりが無いか確認します。
 - ① 引っ掛かりの手応えがあった場合は、そのまま管内を突き、引っ掛かりを解消します。
 - ② 管内での引っ掛かりの手応えが無かった場合は、エアリフトポンプ外部のろ床が閉塞していることが考えられます。この時は、エアリフトポンプの外側にVP13の単管あるいはφ9.5mm程度のSUS管を挿入し、ろ床内を突くことにより、閉塞を解消して下さい。

(出典:メーカー資料)

事業報告

法人運営

普及啓発

検査事業

その他

情報

官庁情報

試験・講習

その他

pH(水素イオン濃度)の測定結果書について

当協会は、「浄化槽法」に基づく指定検査機関であるとともに、「計量法」に基づく計量証明事業所としても登録しています。

「計量法」において、水質測定結果を「取引証明」に使用する場合には、その測定に使用する特定計量器の検定(※1)が義務づけていることから、当協会では、特定計量器としてpH計の検定を受けるとともに、検定証印が付された機器等を使用し、水質測定を実施しています。

このことから、当協会が測定したpH(水素イオン濃度)の結果書(平成19年環境省告示第64号に基づく水質検査の結果書)につきましては、計量法第2条の「証明」に該当しています。

計量法とは

計量法は、取引や証明に用いる計量単位や計量器などについて定めており、適正かつ合理的な計量制度の確立によって、我が国の経済の発展や、国民生活の安定・消費者利益の保護を含めた文化の向上に寄与しています。

計量法第2条 取引と証明の定義

取引	有償であると無償であることを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為
証明	公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること



※1 特定計量器の「構造」と「器差」について、検定検査規則(省令)で定める技術基準への適合性を、国、都道府県などが確認する計量法上の検査のことを言います。これに合格した計量器には、「検定証印」というマークが付されます。

その他 **市町村職員による法定検査の視察**

市町村職員による法定検査の現地視察を5月25日(金)に実施しました。
 この現地視察は、11条検査の外観検査地区に該当する市町村に設置された浄化槽を対象としており、昨年度に引き続き行いました。
 今回は、築上町の浄化槽担当の方が法定検査の様子を視察され、当協会の検査員が法定検査の実施方法や判断基準等について説明しました。
 市町村職員の方と協会職員との良い情報交換の機会となりました。



視察のようす

その他 **お盆休みに伴う検体受付について(お知らせ)**

盆休みに伴う検体の受付日程は次のとおりです。

日程	受付可否	備考
8月10日(金)	○	ただし、大腸菌群数検査は受付ができません。
11日(土)	×	祝日(山の日)
12日(日)	×	日曜日
13日(月)	○	ただし、大腸菌群数検査は受付ができません。
14日(火)	×	盆休み
15日(水)	×	盆休み
16日(木)	×	盆休み
17日(金)	○	通常どおり

注:○印は、検体の受付が可能です。
 ×印は、検体の受付ができません。

事業報告

法人運営

普及啓発

検査事業

その他

情報

官庁情報

試験・講習

その他



七夕神社

今回は、小郡市の七夕神社をご紹介します。

小郡市は人口およそ58,000人で、福岡県の南部に位置し南北に細長い形状で、市域は大きく三つに区分されています。筑後川水系の支流である宝満川が市域を南北に縦断する平坦な宝満川流域、標高20m前後の東北台地、標高20mから90m程度の西北丘陵地に区分されています。

「七夕の里・小郡」で知られている、小郡市の七夕神社(正式名称:媛社(ひめこそ)神社)は、毎年8月7日に七夕神社の夏祭りが開催されており、子供神輿や獅子が各氏子宅を回る伝統行事が行われています。境内には、七夕飾りや、祭り提灯、全国から寄せられた色とりどりの短冊が笹竹に飾り付けられています。また、多くの夜店が並び、家族連れや若いカップルで大変賑わいを見せます。夜は特設ステージにおいて、多彩な演芸が催され夏の夜のひとときを楽しむことができます。



<一般社団法人小郡市観光協会提供>

平成30年6月30日 退職：富永 実奈(総務課主事)

編集
後記

政府は昨年(2019年)の閣議で、天皇陛下退位が来年の4月30日に、皇太子さま即位が来年の5月1日に日程が正式決定されました。このことにより、これからはどの季節やイベントも「平成最後の〇〇」になり、この事に気づいた人々が「平成最後の夏か、、、」「平成最後の夏というキーワード」「平成最後の夏とか言われると寂しさが増す」などとSNS上でつぶやかれ、トレンドワードとなっています。平成生まれの私も、青春時代が終わったような感覚で寂しい思いがしますが、「平成最後の夏」を楽しい夏にしたいと思います。

第7回

じょうかそう (浄化槽) ポスター コンクール

夏休みの
宿題にも!

応募期間

平成
30年6月1日(金)
～9月14日(金)
必着

テーマ

家庭から出る汚れた水をキレイにする 「じょうかそう(浄化槽)」と水辺の環境

※「じょうかそう(浄化槽)」を含む「ことば」または「イラスト」を必ず入れてください



浄化槽

応募対象

優秀作品はPR用ポスターの原画に!
福岡県在住の小学生(1年生～6年生)

賞など

福岡県知事賞
福岡県浄化槽推進協議会会長賞
福岡県環境整備事業協同組合連合会会長賞
(一財)福岡県浄化槽協会理事長賞
優秀賞 入選 応募者全員に参加賞あり

第7回「じょうかそう(浄化槽)」
ポスターコンクールの入賞・入選作品
を展示します

平成30年10月10日(水)～10月17日(水)
コスメイト行橋1F ロビー
平成30年10月29日(月)～11月4日(日)
アクロス福岡1F
コミュニケーションエリア

他、福岡県庁1階ロビーを予定しています。
入賞・入選者には追ってお知らせします。

第6回 入賞作品



福岡県知事賞



福岡県浄化槽推進協議会会長賞



福岡県環境整備事業協同組合連合会会長賞



福岡県浄化槽協会理事長賞

主催 / 一般財団法人 福岡県浄化槽協会
後援 / 福岡県 / 福岡県浄化槽推進協議会 / 福岡県環境整備事業協同組合連合会

2018
夏号
No.148

かいほう

発行年月日 : 平成30年7月1日
発行所 : 一般財団法人 福岡県浄化槽協会
〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2
TEL.(092)947-1800 FAX.(092)947-3636
発行人 : 三浦 正史
ホームページ : <http://www.fjkyo.or.jp>



この印刷物は環境保護の為、再生紙を使用し、植物油インキによって印刷しました。